

この手らと

第4号平成29年9月

まことの保育



盆踊り法要

鹿児島竜谷学園和光幼稚園



園長 川口公男

台風一過の日曜日に2本の巨大な虹のアーチが鹿児島市全体をまたぐように降りてきました。一瞬、茫然となるほど、感動の虹の橋が眼前に広がりました。

虹の足

雨が上がって 雲間から 乾麺みたいにまっすぐな陽射しが たくさん地上に刺さり、行く手に榛名山が見えた頃、山地を登るバスの中で見たのだ 虹の足を

眼下に広がるたんぼの中に 虹がそっと足を下したのを 野面にすらりと足を置いて 虹のアーチが軽やかにずっと空に立ったのを

その虹の足の底に 小さな村といくつかの家が すっぼりと抱かれて染められていたのだ

それなのに 家から飛び出して虹の足にさわろうとする人影は見えない 『おーい きみの家が虹の中にあるぞー』

乗客たちは 頬を火照らせ 野面に立った虹の足に見とれた

たぶん あれはバスの中のぼくらに見えて 村の人々には見えないのだ そんなこともあるだろう 他人に見えて 自分には見えない幸せの中で

吉野 弘

心のふるさとづくり



心にふるさとをもっている人は、たとえ人生の過程の中で、いろいろな試練に出会っても人とのつながりで強く生きていくことができます。遠くの地でふと心が疲れたとき羽を休める心の母港がふるさとです。

お寺の境内で、たくさんの人たちに囲まれて踊った盆踊り体験は、子どもたちの心にふるさとなをつくってくれたことと思います。ふるさとは遠きにありて思うものです。

県教職員研修大会分科会会場



人生のスタートにこそ良質の教育をという大会テーマのもと、県下90名の先生方に保育を公開いたしました。午前中での開会式では別院のご輪番先生の心温まるごあいさつをいただきました。午後の話合いの中では、本園の子どもたちのほつらつとした表情・活動や職員の教育方法等についてたくさんほめてもらいました。



父母の会、おやじの会のみなさまにも早朝、ご多用のなかに受付、案内、駐車場案内等とご支援いただきましてありがとうございました。

季節が巡る二学期です

厳しい残暑を乗り越えますと、高原では涼風がコスモスを揺らし、夕暮れときはなぜかしら人恋しい秋を迎えます。「夕焼け小焼けの赤とんぼ、負われて見たのはいつの日か」10月8日の運動会から12月3日のお遊戯会、そして、もちつき大会と園行事とともに季節の移り変わりを感じる二学期がはじまります。子どもたちの成長を楽しみにしていきましょう。

